

住宅サッシの「標準規格寸法」平成21年度改訂

当協会では、住宅工法の変化に対応し、流通の合理化、効率化を目指した「新寸法標準規格」を策定し、平成15年10月から行政、住宅生産者団体、建築士関連団体等の皆様にご理解をいただき、実施してまいりました。

その後5年が経過し、住宅環境の変化に伴い、「標準規格寸法の一部見直し」を行い、平成21年4月より下記「標準規格寸法」変更概要の通り、改訂いたしました。

「標準規格寸法」変更概要

＜住宅サッシ商品＞

- 1 最近の住宅の仕様上、小さなサイズの窓の需要が増加したのを受けて、各種の小さなサイズの窓の標準規格寸法を追加しました。
- 2 ランマ付サッシについては、住宅の仕様変更に伴い、ランマ通しが増加し、採用数が大幅に減少したため、標準規格寸法の見直しを行いました。
- 3 新寸法体系の導入時の学識者も交えた研究会結果を受けて、メーターモジュールの標準規格寸法化を進めましたが、サッシ以外の建材におけるメーターモジュール化が進まず、今回採用状況を鑑み標準規格寸法の見直しを行いました。
- 4 二重サッシについては、アルミ樹脂複合サッシへの移行が進んだのを受けて、標準規格寸法の見直しを行いました。
- 5 和室出窓については、出窓そのものの採用数の減少と共に、造り付けの出窓の需要が多いため、標準規格寸法の見直しを行いました。

＜出入り口商品＞

- 1 住宅サッシのメーターモジュール見直しに伴い、勝手ロアの標準規格寸法を見直しを行いました。

平成21年度4月改訂版「標準規格寸法表」データダウンロード

● [住宅サッシ「標準規格寸法」平成21年度4月改訂](#)

● [住宅出入り口商品「標準規格寸法」平成21年度4月改訂](#)

※「標準規格寸法」平成21年度4月改訂版の問い合わせは、サッシメーカー各社担当へ願います。

